



学校沿革

明治 6.11.23 明治 5 年小学校令発令に伴い、鶴馬・勝瀬・南畑・針ヶ谷・水子の 5 ヶ村連合して小学校を創設し、鶴馬村来迎寺を校舎に充用する

明治 7.12.17 5ヶ村連合を分離し、水子村に「水子学校」を設置し、大応寺を校舎に充用する。

明治 22.5.22 町村制が施行。水谷村となり「水谷尋常小学校」を設置、大応寺を校舎に充用する（5 月 22 日は開校記念日）児童数 123 名。

明治 27.6.6 水谷村大字水子 2509 番及び 2510 番に新校舎落成。

明治 39.4.30 高等科を併置し「水谷尋常高等小学校」と改称する。児童数 184 名。

大正 2.11. 21「水谷実業補習学校」を附設する。

大正 13.11.15「水谷実業補習学校」学則を変更し、「水谷公民学校」を併設。

大正 15.7.1「水谷村立青年訓練所」を併設する。

昭和 16.4 「入間郡水谷村立水谷国民学校」と改称する。児童数 4 2 2 名。

昭和 19.2.11 町村合併に伴い「北足立郡志紀町立水谷国民学校」と改称する。

昭和 22.4.1 高等科を廃止し、「北足立郡志紀町立水谷小学校」となる。志紀中学校分教場を併設する。児童数 3 6 9 名。

昭和 23.4.1 町村分離に伴い、「北足立郡水谷村立水谷小学校」と改称する。「水谷中学校」を設置し、小学校と併設する。

昭和 31.9.23 鶴瀬村・南畑村・水谷村が合併し富士見村となる。「入間郡富士見村立水谷小学校」と改称する。児童数 381 名。

昭和 35.4.1 併設の水谷中学校廃止。

昭和 39.4.1 町制施行により「入間郡富士見町立水谷小学校」と改称する。児童数 328 名。

昭和 44.3.8 鉄筋 3 階建 9 教室（北校舎の一部）竣工。

昭和 46.8.2 プール竣工。

昭和 47.4.10 市制施行により「富士見市立水谷小学校」と改称。児童数 1106 名。

昭和 47.9.29 校旗制定。

昭和 47.10.1 鉄筋 3 階建 9 教室（北校舎の一部）竣工。

昭和 48.4.1 水谷東小学校新設により 5 区、6 区、2 区の一部分離。児童数 807 名。

昭和 49.11.20 開校 100 周年記念式典挙行。

昭和 50.3.10 屋内運動場（体育館）竣工。

昭和 51.3.30 プレハブ教室竣工。児童数 1 1 2 9 名。

昭和 52.4.1 みずほ台小学校新設により、1 区・3 区の一部分離。児童数 8 3 9 名。

昭和 54.2.28 鉄筋 3 階建・南校舎及び特別教室棟（音楽・理科・家庭・図工・視聴覚）竣工。

昭和 61.7 木造校舎撤去。

昭和 63.7～9 グランド改修工事。

平成 2. 3 防球ネット工事。

平成 4.4.1 「きのみ」学級開設。

平成 5. 8 北校舎大規模改修工事。郷土資料室完成。

平成 12.12 コンピュータ教室設置。

平成 15.4.1 放課後児童クラブ校地内に新設。

平成 16.7～9 耐震補強工事。

平成 25.6 学校運営支援者協議会発足。普通教室エアコン設置。

平成 25.7～8 南校舎大規模改修工事。

平成 28.1～2 プール改修工事。

平成 28.3 給水設備及び北校舎トイレ改修工事。

平成 29～30 市教委委嘱・学校研究「子どもが自ら創り出す算数授業の展開」（算数）

令和元～2 市教委委嘱・学校研究「主体的に教材に向き合い、思いを表現する児童の育成」

令和 3～ 市教委委嘱・学校研究「これからの社会で自由に生きるための資質・能力の育成」

令和 4.2 PTA 会議室・コンピュータ室・職員室改装工事

令和 4.6～8 体育館エアコン設置工事、郷土資料室・図書室の半分を普通教室へ改装。

令和 5.11.22 開校 150 周年記念式典挙行。

令和 6.4.1 東校舎竣工

令和 7.4 市教委委嘱・学校研究 体育「主体性を育み、気力あふれる児童の育成」いのちの授業プラス「自ら学び、自ら関わり、自らのちや健康を大切にする児童の育成」

令和 8.4 埼玉県体力課題解決指定校（体育）市教委委嘱・学校研究「気力と創造力に溢れる児童の育成」いのちの授業プラス「自ら学び、自ら関わり、自らのちや健康を大切にする児童の育成」